

やってみよう！新たなきゅうりの多収整枝法

概要 Abstract

無加温半促成長期どり作型における、つり上げ栽培およびつる下ろし栽培の収量増加、秀品率向上、秀品収量あたりの作業時間軽減、品種の適応性などを明らかにした。

成果 Results

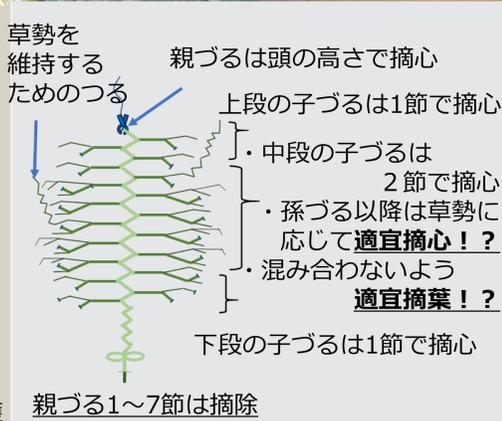
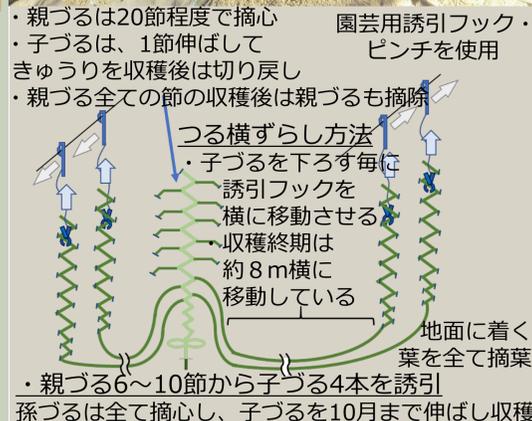
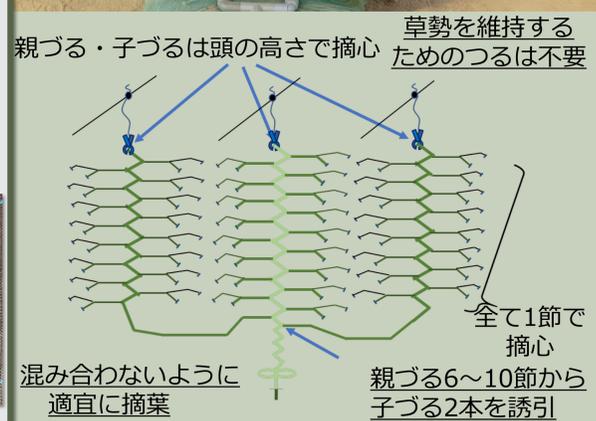
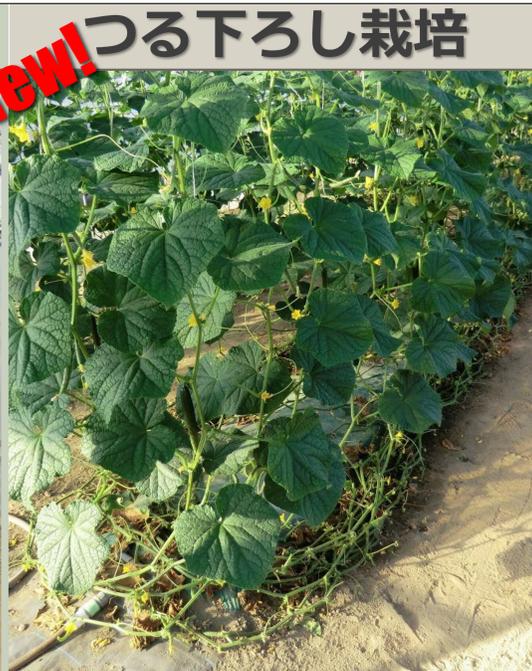
摘心栽培の問題点！

匠の技が必要で
技術伝承が難しい！

摘心・摘葉を
農家自身が担当し、
暑く過酷なビニール
ハウスで長時間労働

秀品率が低く効率悪い

新規作付け者から
敬遠



導入のポイント	メリット	多収	秀品率が高く多収 作業が比較的単純	慣行
	デメリット	葉の混み合い注意	要つる下ろし作業	摘心・摘葉の作業負担が大
主な対象	摘心栽培からの導入	新規作付け、雇用労働での管理	-	
収量性	総収量	◎ 3割多い	□ 同程度~1割多い	□
	秀品収量	◎ 4割多い	◎ 3割多い	□
	秀品率	○ やや高い	◎ 高い	□
秀品収量あたりの作業時間	収穫作業	○ 2割短い	◎ 3割短い	□
	合計作業	◎ 2割短い	○ 1割短い	□
	(合計作業は、収穫期間中の収穫・摘心・摘葉・つる下ろし作業の合計で、育苗・定植・収穫開始前の管理は含まない)			
	作業時間が同程度なら	秀品収量が 120% ビニールハウス面積は 84%	秀品収量が 107% ビニールハウス面積は 78%	100%
作業判断の難易	収穫	□ 見逃し注意	◎ 高さが揃い易	□ 見逃し注意
	摘心	○ 易、見逃し注意	◎ 判断・作業とも易	× 判断難しい
	摘葉	× 判断難しい	◎ 判断・作業とも易	× 判断難しい
	つる下ろし	(不要)	◎ 判断・作業とも易	(不要)
その他	薬剤防除	□ 葉が混み合い 薬量と時間が必要	◎ 葉が均等に配置 され散布が容易	□ 葉が混み合い 薬量と時間が必要
	適する株間	50cm (~70cm)	50cm	40~60cm
	品種	大きな収量差は無く「オーシャン」「ちなつ」「マジカル2号」いずれも可能		

普及 Dissemination

雇用労働などを活用する生産者や、新規作付け者における安定栽培技術として活用できる。

連絡先 Contact

上川農業試験場 研究部 地域技術グループ
Tel: 0166-85-2200 Mail: kamikawa-agri@hro.or.jp